

2014年4月22日

## 完全冗長電源とBCP向けオフィスを備えたデータセンター 「マレーシアサイバージャヤ4データセンター」の提供開始について ～ディザスタ・リカバリ対策やオフショア拠点の構築などを東京の半額以下で実現可能～

NTT コミュニケーションズ (略称: NTT Com) は、2014年4月23日に、マレーシアにおいて4番目となる「マレーシアサイバージャヤ4データセンター」の提供を開始します。

本データセンターは、マレーシアの首都クアラルンプールの郊外にある総合開発地域マルチメディア・スーパーコリドーの中核都市サイバージャヤに位置しており、サーバールーム面積約3,900 m<sup>2</sup> (1,000 ラック相当) を提供します。

NTT Comは、2015年度のクラウド/データセンター事業の収益を、2012年度実績の2倍以上の2,000億円以上にする計画のもと、アジアNo. 1のデータセンター事業者として、先進のサービスをグローバルに拡充していきます。

### 1. 背景

マレーシアでは、近年の内需拡大に基づく好調な経済成長に伴い、多くのグローバル企業が進出し、ローカル企業のICT投資も増加傾向にあります。また、地震や津波などの自然災害の影響が極めて少なく、政情も安定しており、電力料金や人件費が安価であることから、ディザスタ・リカバリ、ビジネスのアウトソーシングやオフショア拠点、そしてアジア地域のシステム集約先として、データセンターへの需要が増大しています。

NTT Com は、マレーシアにおいて15年以上にわたり、ICT関連のトータルソリューションを提供しており、サイバージャヤ地区に現在3つのデータセンターが稼働しておりますが、お客さまからのさらなるご要望にお応えするため、新たなデータセンターの提供を開始します。

(別紙1) 「マレーシアサイバージャヤ4データセンター」の外観

(別紙2) アジア圏におけるNTT Comの主要なデータセンター拠点

### 2. 概要・特長

既存の「マレーシアサイバージャヤ3データセンター」に隣接する本データセンターは、データセンター専用設計の地上4階建てのサーバー棟と、5階建てのお客さま向け大規模オフィス棟を併設し、Nexcenter<sup>\*1</sup>ブランドの下、「高品質」、「低コスト」、「柔軟性」を統合した次世代データセンターサービスの需要に応じていきます。本データセンターでは、コロケーションサービスだけでなく、Bizホスティング Enterprise Cloudと接続したハイブリッドサービスも提供していきます。

#### (1) 自社設計ビルと完全冗長電源により、「低価格」と「高信頼性」を実現

本データセンターは、NTT Comグループが定めるグローバル統一設備・運用基準<sup>\*2</sup>に準拠したサービスを提供します。異なる変電所からの異経路での受電、非常用発電機やUPSの二重化など電力設備の完全冗長化により、高い信頼性と、万全な運用体制を備えるだけでなく、安価な電力コストに加え、お客さまの要望に応じて柔軟かつ効率的に設備の増設が可能なモジュラーコンセプトの採用や、建物の低層構造化などの投資効率の向上により、東京で提供中の同クラスのデータセンターの半額以

NTT コミュニケーションズ株式会社 広報室

NTT Communications Corporation Public Relations Office

〒100-8019 東京都千代田区内幸町 1-1-6

1-1-6 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8019, Japan

Tel (03)6700-4010 International +81 3 6700 4010

下という低価格を実現しました。

さらに、敷地内には将来の拡張にも柔軟に対応する広大なデータセンター建設用地を準備しています。

## (2) 同敷地内にBCP向け大規模オフィス棟を併設

同敷地内には、延床面積約7,000㎡のお客さま向け大規模レンタルオフィスを併設しました。お客さまのリモートオフィスやバックアップサイトとしての利用を可能にする非常用発電設備を完備しています。また、複数言語に対応可能な保守サポート要員も同敷地内に常駐しており、ISO20000やISO27001などの国際認証に基づいた厳格な運用体制のもと、ネットワークからサーバーまで、お客さまのICT インフラを24時間365日トータルにマネジメントします。

## (3) アジア主要都市間を最短で結ぶネットワークが経済的に利用可能

本データセンターと接続している、アジア地域を結ぶ海底ケーブルAsia Submarine-cable Express (ASE)により、低遅延で信頼性の高い国際IPネットワークが利用できます。NTT Comの国際IPネットワークを利用した高速かつ大容量のインターネット接続や、グローバルVPNサービス「Arcstar Universal One」など、全世界をカバーする豊富なネットワークサービスの通信設備(POP)が同敷地内に設置されているため、お客さま機器から国際IPネットワークへ直接接続することが可能となり、経済的な利用が可能です。

(別紙3) 「マレーシアサイバージャヤ4データセンター」の仕様

## 3. 提供開始日

2014年4月23日

\*1: データセンターサービスブランド「Nexcenter™」

グローバル品質でフルサポート、先進のデータセンターサービスで、お客さまのビジネスを加速します。

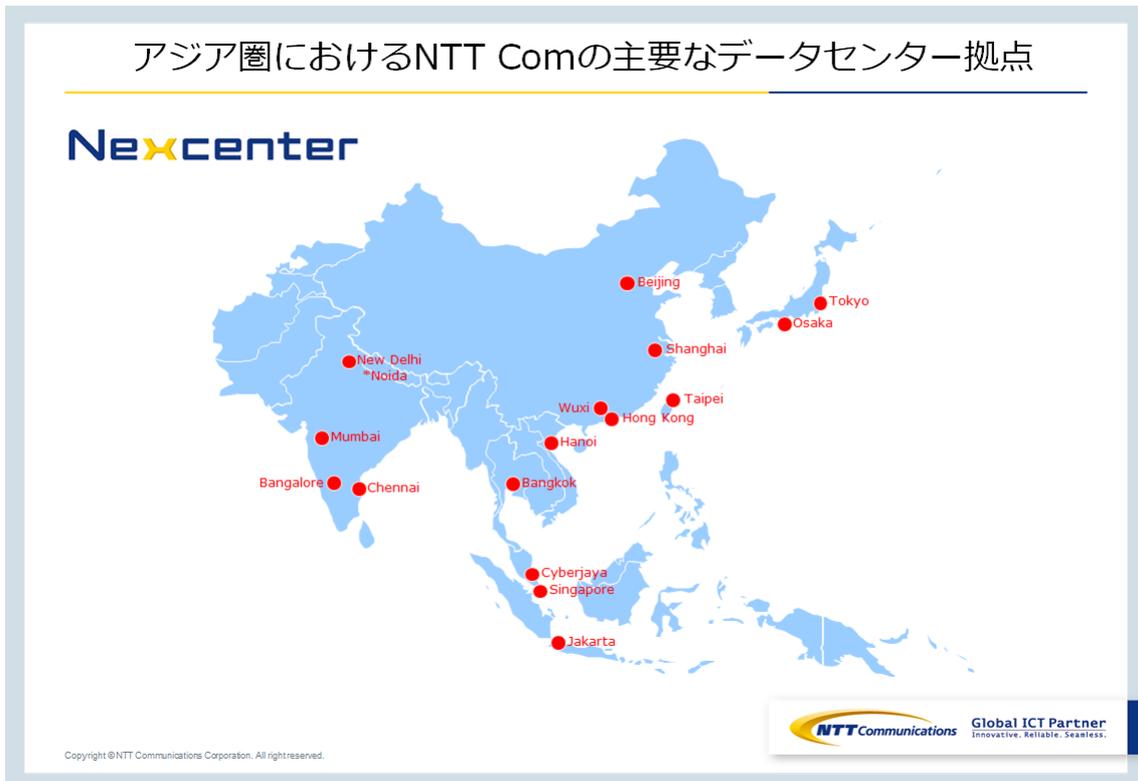
The logo for Nexcenter, featuring the word "Nexcenter" in a blue sans-serif font. The letter "x" is stylized with a yellow-to-blue gradient.

\*2: TIA(米国電気通信工業会)、Uptime Institute およびASHRAE(米国暖房冷凍空調学会)などの世界基準を考慮し、NTT Comグループが国内外で積み上げてきたノウハウや技術、お客さまの声を基に、300項目以上の設備や運用を定義した基準書。基準書の内容は適宜改定し、さらなる品質の向上に取り組んでいます。

別紙1：「マレーシア サイバージャヤ4 データセンター」の外観



別紙2：アジア圏におけるNTT Comの主要なデータセンター拠点



別紙 3：「マレーシア サイバージャヤ 4 データセンター」の仕様

所在地	クアラルンプール近郊の IT 特区サイバージャヤに立地 クアラルンプール国際空港から車で約 30 分 (約 30km) 海拔 24m	
建物	延床面積	約 12,600 m <sup>2</sup> (DC 棟 約 5,600 m <sup>2</sup> / オフィス棟 約 7,000 m <sup>2</sup> )
	階数	サーバー棟 4 階建て オフィス棟 5 階建て
	床積載耐荷重	約 1,500kg / m <sup>2</sup>
電力 設備	受電	異変電所から二系統受電
	非常用発電装置	2N 冗長構成 24 時間以上無給油運転可能
	UPS	2N 冗長構成 バッテリー保持時間 20 分以上
空調設備	空冷式 N+1 冗長構成	
消火設備	超高感度煙感知装置+ウォーターミスト方式消火システム IG100 窒素 ガス消火システム もオプション対応可能	
二重床高	800mm	
セキュリティ設備	事前入館申請 IC カード+生体認証による入室 セキュリティゲート、監視カメラ、ラック個別施錠 24 時間警備員常駐 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティカスタマイズ が可能	
グリーン指標 (取得認証)	LEED (全米グリーンビルディング評議会による環境性能評価制度) GBI (マレーシア・グリーンビルディング・インデックス)	
グリーン施策	太陽光発電パネル LED 照明 雨水再利用 敷地緑化	
通信環境	キャリアニュートラル対応	
保守・運用サービス (24/365)	英語/マレー語/中国語/インドネシア語対応サービスデスク オンサイトスタッフによる各種リモートハンドサービス	
各種認証	ISO27001, ISO9001, ISO20000, PCIDSS	
Tier レベル	Tier 3 (TIA942; 米国電気通信工業会が定めるデータセンター基準)	